

地域支援センターしせい

第6号（平成29年2月7日発行）

親子学級について

○今年度の講演会等について



今年度の親子学級では、懇談会や座談会、講演会等を計4回行いました。

1回目は本校養護教諭や小学部主事から幼児期の生活習慣づくりの大切さについて、2回目は南相馬市就学支援アドバイザーの加賀八重子先生から障がいのある子どもの子育ては「母と子の関係づくりがすべての基礎となる」ということ、3回目は小学部に在籍するお子さんの保護者さんから子育てで大切にしてきたことについて、4回目は本校進路指導主事と加賀先生から障がいのある子どもの進路について、以上のような様々な内容で行いました。

また毎回話を聞いた後には、お子さんと今取り組んでいてうまくいっていることや困っていること、悩んでいることなどの状況を話し合い、みんなでアイデアを出し合いました。保護者さんからは「焦ってしまうこともあるが、以前と比べるとできることが増えている。焦らずいきたい。」「様々な人とのつながりを大切にしながら本人の成長に合わせて育てていきたい。」という前向きな感想をいただきました。



○閉級式について

2月2日に親子学級の閉級式が行われました。いつものように、「はじまるよ」の手遊び歌から始まりました。参加しているお子さんたちは5月の開級式の時よりも、前に立つ先生を見たり手の動きを模倣したりすることが上手になり、この1年間のお子さん一人一人の成長をととても嬉しく思いました。

西村校長先生より修了証書やアルバムを授与されると、アルバムを見開いて親子学級での思い出をお子さんと保護者の方が一緒に笑顔で振り返る姿が印象的でした。

今年度は17回の活動に12名のお子さんと保護者の方が参加しました。「楽しいな。」「やってみたいな。」という気持ちや、教師や友達とかかわり合う心地よさを感じてもらえるよう歌遊びや絵本の読み聞かせ、おやつ作り、光遊びなどの活動を行いました。今年度はお子さんたちの活動内容を見直し、何度かくり返して活動を行うことで、お子さん達が見通しをもって意欲的に活動できたとともに、保護者の方も成長する我が子の姿を確認できたのではないかと思います。

今後もお子さん達の成長を保護者の方と共に確認したり一緒に喜んだりできるような親子学級の運営を行ってまいります。

